

2050年までの二酸化炭素
排出実質ゼロを目指し



浜松市は持続可能な開発目標（SDGs）
の達成に向けた取り組みを推進します。

浜松市は、

浜松市域“^{アールイー}RE100”

を実現します。

浜松市は「SDGs未来都市」です



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

— 地球の気温上昇を1.5℃以下に抑えるために —

浜松市域“RE100”とは ※浜松市が独自定義

RE(renewable energy) ☞ 再生可能エネルギー

浜松市内の再エネ電源 ≥ 浜松市内の総電力使用量

※市内の総消費電力に相当する電気を、市内の再生可能エネルギーで生み出すことができる状態 《RE100の考え方を参考に、浜松市で独自に定義したもの》

【参考】RE100とは☞

・使用する電力の100%を再生可能エネルギーにより発電された電力にすることに取り組んでいる企業が加盟している国際的な企業連合

浜松市域“RE100”へのチャレンジ目標

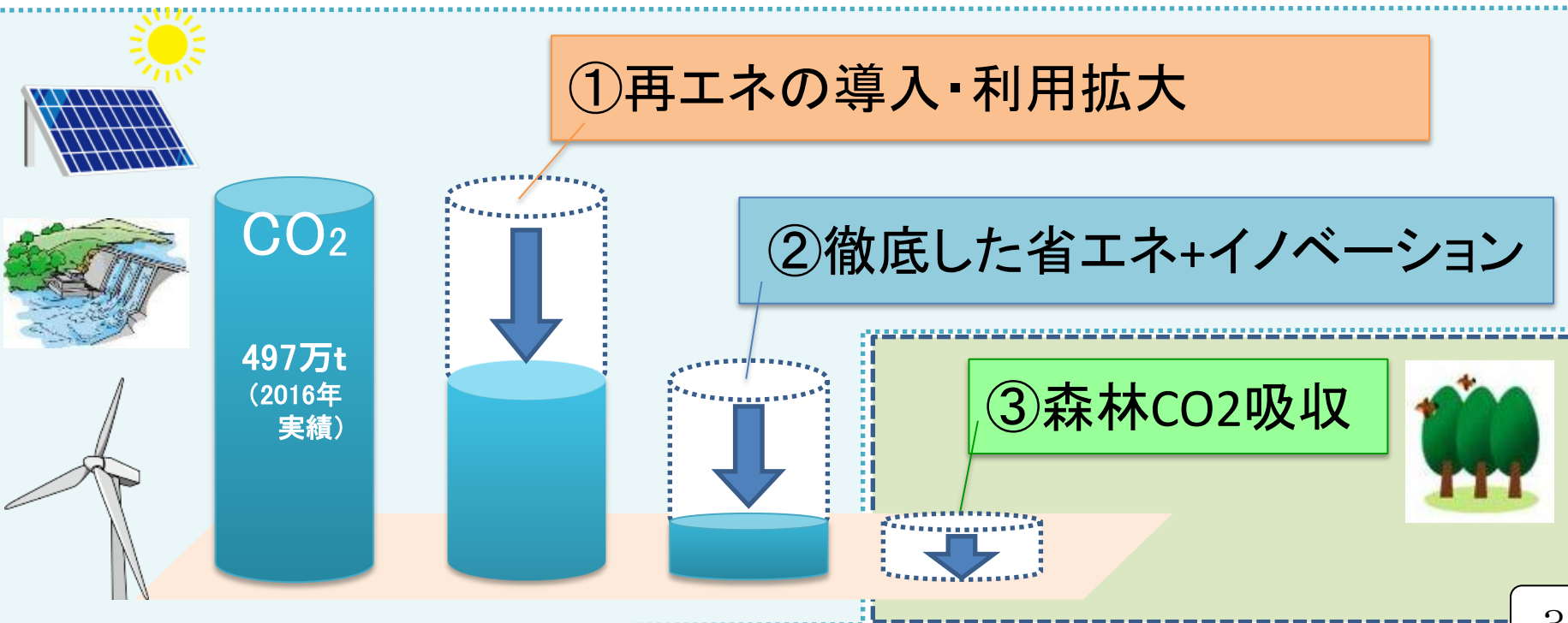
		2018年度(実績)	2030年度(目標)	2050年度(目標)
再生可能エネルギー導入量(MWh)	大規模水力除く A	698,556	1,370,160	2,215,000
	大規模水力含む B	3,028,797	3,700,401	4,545,241
市内の総電力使用量 (MWh)	C	4,996,340	4,700,000	4,500,000
再エネ電力自給率	大規模水力除く A/C	14.0%	29.2%	49.2%
	大規模水力含む B/C	60.6%	78.7%	101.0%

世界が気候危機に直面

- ◆「平均気温上昇の幅を**2°C未満**とする(目標は**1.5°C未満**)」(2015年 パリ協定合意)
- ◆「**1.5°C未満に抑えるため、2050年までに二酸化炭素の実質排出量ゼロにする必要**」
(2018年 IPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)の特別報告書公表)

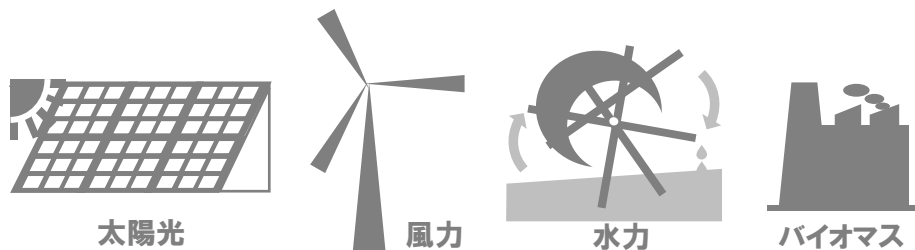
浜松市の対策

浜松市の強み「エネルギー」と「林業」を活かし、二酸化炭素排出実質ゼロを目指す！
「浜松市域“RE100”」戦略



1. 再生可能エネルギーの導入・利用拡大

エネルギーをつくる

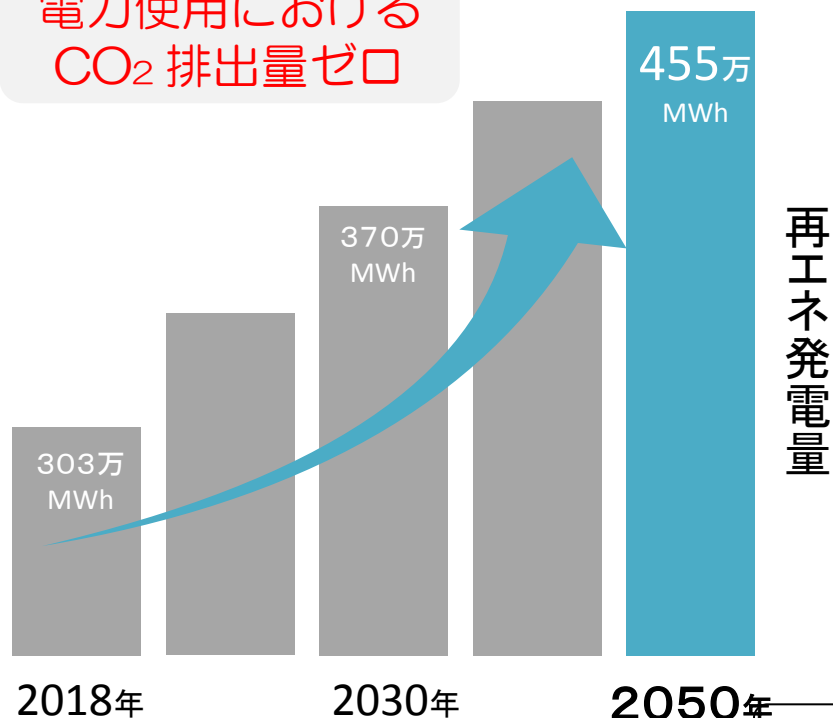


	2018 《実績》	2030 《目標》	2050 《目標》
太陽光	58万MWh	72万MWh	80万MWh
風力	5万MWh	52万MWh	120万MWh
バイオマス	7万MWh	12万MWh	20万MWh
小水力	—	1万MWh	2万MWh
大規模水力	233万MWh	233万MWh	233万MWh
合計	303万MWh	370万MWh	455万MWh

2050年度の市内消費エネルギーとほぼ同等 = 《目標》 455万MWh



電力使用における
CO₂ 排出量ゼロ



再生エネルギー発電量

3. 森林の二酸化炭素吸収

森林資源の活用と保全

林業・木材産業の成長産業化

雇用創出・拡大
生産性向上、技術開発イノベーション、
効率的サプライチェーン構築
販路拡大
緑のインフラ整備

天竜材の利用拡大

森林環境教育・木育の推進
新規ユーザー開拓
住宅・非住宅への積極利用
公共施設・学校の木質化

浜松市 = 国土縮図型都市
森林面積 ⇒ 市域の約66%



二酸化炭素吸収源の役割



持続可能な森林経営の推進

適切な森林管理・整備（FSC森林
認証）
木材生産の低コスト化

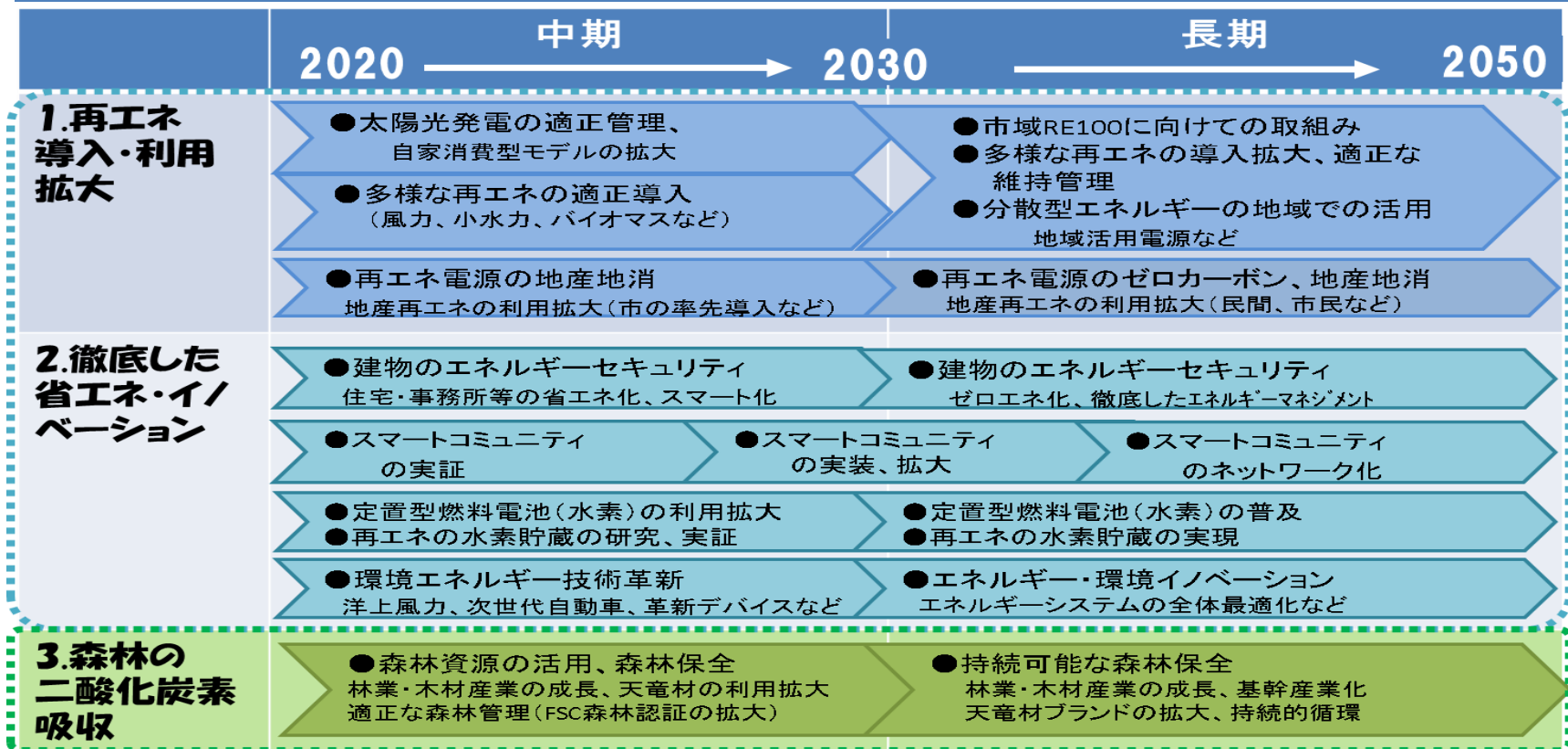
国有林面積：21,259ha

民有林面積：81,215ha （平成30年度静岡県森林・林業統計要覧）

FSC森林認証面積：48,542ha （令和2年1月1日現在）

市町村別では日本最大、取得者別でも全国2位（1位は山梨県）

浜松市域“RE100” ロードマップ(案)



取組事業(令和2年度の主な事業)

1.再エネ導入・利用拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者向け省エネ・蓄エネ設備導入補助 《新規》 ・協働センターへの太陽光発電及び蓄電池設置 《新規》 ・スマートハウス補助(太陽光発電、蓄電池、燃料電池、V2H)
2.徹底した省エネ+イノベーション	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクログリッド事業 ・市有施設照明LED化、省エネ改修
3.森林の二酸化炭素吸収	<ul style="list-style-type: none"> ・森林経営管理推進事業(手入れが遅れている森林の間伐等の推進) ・林業・木材産業成長産業化促進対策事業(伐採後の森林における植林等の促進)